

さくらっこ便り 6月15日号

さくらっこ広場通信 第134号

6月の真夏日です。

なんと、昨日から福島市は最高気温 34℃を超えています。広場も朝はさわやかな風が吹いていましたが、11時を過ぎるとグングン砂場の気温が上がってきているのがわかります。学生たちと、夢中で遊ぶさくらっこ達は、時々休憩を入れて水分補給をしながら、でも、あそびきった今日の広場でした。

参加親子は6組17名（近隣小学校が登校だったようです）、学生は11名（こども保育1年生5名と2年生6名）、子どもの数と学生が同じでしたが、学生はいつものようにフル稼働でした。



「今日は、絵具であそぶ！」お家を出る前から、そう言い切って出かけてきたSちゃんです。お気に入りのウサギの人形を持ってきて、大きな模造紙に大胆に筆で描き始めました。それに触発されて、いつもは絵具を混ぜてかき回す遊びに集中する弟のSくんも筆をもって、絵具の蓋を囲んで、丸を描きました。学生たちがのぞき込んで感心して見えています。



ずっとSちゃんの作品作りに寄り添って、Sちゃんのストーリーを聴いている学生がいます。絵を描いたり、何か作るときに、横でそのストーリーを聞いてくれる人がいることは大切ですね。



学生達が、染め紙あそびの準備をしました。さっそく、和紙できれいな花を作り始めたKちゃんです。



おまごとコーナーで、学生と遊びが始まりました。Yちゃんは最初からお母さんと離れても大丈夫。



いつの間にか、絵具あそびにみんな参加し始めます。大胆に手形や足形のスタンプも始まります。



砂場をのぞいてみると、早くもカラーボールが投入されていました。どんどん掘り始めています。



紙粘土の芸術家



新しいショベルカー、ダンプカーのくぎ付け



お姉さんを独り占めしてお話する人も



滑り台も面白いね

一人ひとりが違うイメージで遊び始めますが、伝わり合い遊びが展開します。傍らにいる学生たちが、それをつなぐ援助をします。2年生の学生は目の前の子どもだけでなく、前後左右にアンテナを張っているのがわかります。3週間の幼稚園実習を終えて、17日からは施設実習に入り、保育現場を目指します。



砂場の世界では、夫々のイメージが広がり、時にはぶつかる時も。学生が緩衝材になりながらも、イメージの世界を広げるお手伝いもします。炎天下、必死の学生たちですが、これが力になってたくましく育つ学生たちです。



絵具ヌルヌルで、転ばないように学生が支えます・・



お母さんとお話し・・・ありがとうございます！



紙粘土で何を作ろうかな？

また、遊びに来てください！7月はビニールプールを出します。

<令和6年度 7月、8月の予定>

7月6日（土）10：00～	水遊びをしよう
7月13日（土）午後 短大講堂 詳細は後日 Hp で案内	歌あそびコンサート参加 キッズスマイルカンパニー ★歌と踊りに参加するコンサートにご家族でご招待 *短大 保育セミナー（こども保育学生） オープンキャンパス（高校生）
7月20日（土）10：00～	水遊びをしよう *ホットサンドづくり（食物栄養学生：庄子先生）
8月3日（土）10：00～	さくらっこ夏祭り *こども保育 学生企画・高校生参加

7月、8月行事が続き、立て込むことが予想されるため、申し訳ありませんが、新規のお申し込みはお断りいたします。

★7月20日、8月3日の申し込みは、準備の都合上1週間前までにメールでお知らせください。

連絡先：狩野奈緒子（桜の聖母短期大学） naoko-k@ssjc.ac.jp